

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【公表番号】特表2009-515529(P2009-515529A)

【公表日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-540260(P2008-540260)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

A 61 K 48/00 (2006.01)

A 61 K 38/00 (2006.01)

A 61 P 13/12 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

A 61 K 48/00

A 61 K 37/02

A 61 P 13/12

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月31日(2009.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プロモーターに作動的に連結された、BMP-7ポリペプチドをコードする核酸配列を含む組換えプラスミドベクターであって、前記BMP-7ポリペプチドが、プレプロBMP-7ポリペプチド、プロBMP-7ポリペプチド、及び成熟BMP-7ポリペプチドからなる群から選択されるか、又は

前記BMP-7ポリペプチドが、配列番号3並びにBMP-7活性を有するその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択されるアミノ酸配列を有する組換えプラスミドベクター。

【請求項2】

BMP-7ポリペプチドをコードする核酸配列が、配列番号1、配列番号2、並びにBMP-7活性を有するポリペプチドをコードするその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択される請求項1に記載の組換えプラスミドベクター。

【請求項3】

BMP-7ポリペプチドが、BMP-7シグナル配列、IGF-1シグナル配列、及びtPAシグナル配列からなる群から選択されるシグナルペプチドを含むか、又は

前記シグナルペプチドが、配列番号4、配列番号6、配列番号8、配列番号11、並びにシグナルペプチド活性を有するペプチドをコードするその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択されるヌクレオチド配列によりコードされるか、又は

前記シグナルペプチドが、配列番号5、配列番号7、配列番号9、配列番号12、並びにシグナルペプチド活性を有するその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択されるアミノ酸配列を有する、請求項1又は2に記載の組換えプラスミドベクター。

【請求項4】

プラスミドがpNB292であり、配列番号10のヌクレオチド配列を有する、又は
プラスミドがVR1012プラスミドに挿入された、BMP-7ポリペプチドをコードする核酸配列を含む請求項1～3のいずれかに記載の組換えプラスミドベクター。

【請求項5】

請求項1～4のいずれかに記載の組換えプラスミドベクター及び、任意で少なくとも1つの薬学的に又は獣医学的に許容される担体、賦形剤、又は媒体を含む医薬組成物。

【請求項6】

腎不全に罹患している又はそれを発症する危険性がある哺乳動物被検体(ヒトを除く)を処置する方法であって、プロモーターに作動的に連結された、BMP-7ポリペプチドをコードする核酸配列を含有する、治療上有効な量のプラスミドを前記哺乳動物被検体に投与することを含む方法。

【請求項7】

腎不全を発症する危険性がある哺乳動物被検体(ヒトを除く)において、腎不全の発症を予防する方法であって、プロモーターに作動的に連結された、BMP-7ポリペプチドをコードする核酸配列を含有する、予防的に有効な量のプラスミドベクターを前記哺乳動物被検体に投与することを含む方法。

【請求項8】

BMP-7ポリペプチドが、プレプロBMP-7ポリペプチド、プロBMP-7ポリペプチド、及び成熟BMP-7ポリペプチドからなる群から選択されるか、又は

BMP-7ポリペプチドが、配列番号3並びにBMP-7活性を有するその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択されるアミノ酸配列を有する請求項6又は7に記載の方法。

【請求項9】

BMP-7ポリペプチドをコードする核酸配列が、配列番号1、配列番号2、並びにBMP-7活性を有するポリペプチドをコードするその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択される請求項6又は7に記載の方法。

【請求項10】

BMP-7ポリペプチドが、シグナルペプチドを含み、前記シグナルペプチドが、BMP-7シグナル配列、IGF-1シグナル配列、及びtPAシグナル配列からなる群から選択されるか、又は

前記シグナルペプチドが、配列番号5、配列番号7、配列番号9、配列番号12、並びにシグナルペプチド活性を有するその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択されるアミノ酸配列を有するか、又は

前記シグナルペプチドが、配列番号4、配列番号6、配列番号8、配列番号11、並びにシグナルペプチド活性を有するペプチドをコードするその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択されるヌクレオチド配列によりコードされる、請求項6～9のいずれかに記載の方法。

【請求項11】

プラスミドが、pNB292であり、配列番号10のヌクレオチド配列を有するか、又は
プラスミドが、VR1012プラスミドに挿入された、BMP-7ポリペプチドをコードする核酸配列を含む、請求項6～10のいずれかに記載の方法。

【請求項12】

BMP-7ポリペプチドが、哺乳動物被検体(ヒトを除く)中でインビボで発現する請求項6～11のいずれかに記載の方法。

【請求項13】

哺乳動物被検体(ヒトを除く)が、ネコ科の動物及びイヌ科の動物からなる群から選択される請求項6～12のいずれかに記載の方法。

【請求項14】

哺乳動物被検体(ヒトを除く)が、イヌ科の動物である請求項6～12のいずれかに記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】配列表

【補正方法】変更

【補正の内容】

【配列表】

2009515529000001.app